

当院での冠動脈びまん性病変に経カテーテル的冠動脈形成術を施行した患者を対象とした複数ステント留置後のその後の有害事象を検討した後向き研究について

## 1. 研究の対象

当院で 2014 年 4 月 1 日から 2017 年 3 月 31 日に経カテーテル的冠動脈治療を行った方

## 2. 研究目的・方法

心臓に血液を送る血管である冠動脈が広範囲に渡って狭くなる病気を冠動脈びまん性病変といい、治療のために血管を内側から広げる器具（ステント）を複数留置する事が比較的多く行われています。一方、複数のステント留置が冠動脈の細くなっている血管にカテーテルと呼ばれる細い管を挿入して血管を広げ、血流を取り戻す治療（PCI）後の長期的な有害事象の危険因子とする報告もあります。また、数年前から当院でも 40mm を超えるステント（Very long stent）が使用できるようになりましたが、長期成績に関する報告はまだ少ないです。

本研究では今後 Very long stent の使用頻度が増加することを見据え、当院での冠動脈びまん性病変に対する複数ステント留置の実態や治療成績を把握するために、過去の電子カルテ情報や検体を使った調査・検討を行わせて頂きます。

研究期間は病院長承認日から 2022 年 5 月 31 日です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：身長、体重、年齢、性別、病歴、カテーテル治療情報等

試料：血液、カテーテル検査画像

## 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

静岡県磐田市大久保 512-3

0538-38-5000(代表)

研究責任者：磐田市立総合病院 循環器内科 児玉 圭太